



仲間の絆に支えられ続く二刀流

嘉藤 勇気さん

軽快なはさみの音と穏やかな会話
が聞こえる市内のヘアサロン。営むの
は嘉藤勇気さん。理容師として働く
傍ら、2025年9月、ブラジリアン
柔術の世界大会で、Master of Top Flyer
級茶帯部門で優勝を果たしました。
嘉藤さんは北海道生まれ。中学
卒業後、先生の紹介で相撲部屋に
入門し4年を過ごします。引退後、
巡業で親しくなった知人の紹介で愛
知県に移り、理容師の道へ。「相撲
部屋より厳しかった」という師匠の
下、8年間にわたって修行を積み、
独立します。ブラジリアン柔術を始
めたのは同じ頃。体を動かしたい
と、名古屋市天白区の道場の門をた
たきます。道場で切磋琢磨した仲
間たちは、次第に店にも通ってく
れるようになり、その後家庭の事情で
店をやめ、北海道に戻ったときにも
「愛知に戻っておいで」と声を掛け、
支えてくれたと話します。

自分の店を持つ決心をし、これま
でのお客さまが来やすい場所として
選んだのが大府市。契約を済ませ、
新しい店の中ではさみを持つ自分の
姿を想像したとき、仕事以外の場所
でも人と関わり、好きなことに打ち
込む人でありたいと感じました。
そこで嘉藤さんは、店を自分の好き
なものを選び、詰め込んだ心躍る
空間にしつらえます。落ち着いた色
みの店内には、ぴかぴかに磨かれた
大型バイクを置き、ガラス棚にはこ
だわりの酒のボトル、そして大きな
メダルを並べます。店は、柔術の仲
間だけでなく、相撲部屋時代や理
容師業界の仲間も訪れる、ぬくもり
のある空間になっていきます。

柔術の鍛錬も欠かさず、選手とし
て結果を出していた嘉藤さん。そんな
中、道場での指導を任せられます。教
える難しさに悩み、一時は辞めたい
と考えるほど苦労したと話します。
悩んだ末、自らの結果で見せるしか
ないと腹をくくり、昨年夏から6大
会に出場し、13試合で全勝。12月に
は道場から黒帯を授与されました。
これからは次の階級。「険しいけ
れどチャレンジする人生の方が面白
い」とほほ笑みます。人との絆を大
切にし、共に
働く家族にも
尊敬と感謝の
気持ちににじ
ませる嘉藤さ
ん。仕事と趣
味に全力を傾
け、疾走を続
けます。



▲店内に飾られたメダル。

※SJJIF World Jiu Jitsu Championship 2025(千葉市)

cover

今号の表紙は、Instagramで話題のミモザの名所・大府みどり公園のポートフィリップ園。春色に包まれたミモザの下で撮影した、家族の笑顔あふれる一枚です。3月上旬から見頃を迎え、毎年、全国から多くの人が花見や写真撮影に訪れます。

